

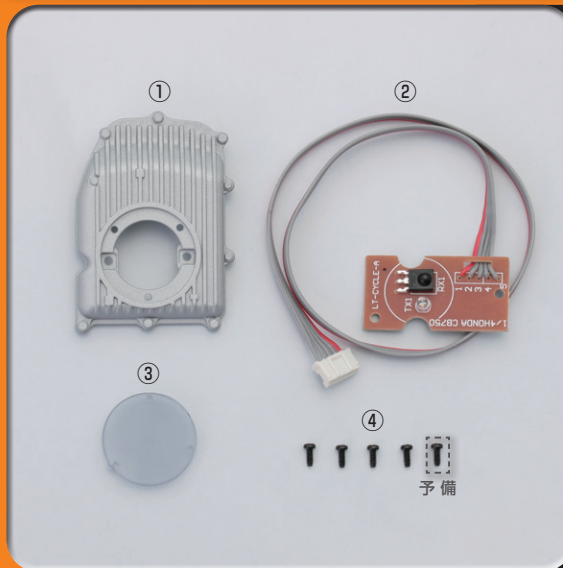
今号の作業

IRセンサーを取り付ける



今号では、クランクケースの下部に取り付けるオイルパン内側に、「IRセンサー」を組み込む。このパーツは本モデル専用開発したもので、ワイヤレス方式での電飾ギミック制御を実現したものだ。トラブルを防ぐため、電子基板の取り扱いに注意しながら作業しよう。

今号のパーツ



- ① オイルパン×1
- ② IRセンサー×1
- ③ IRセンサーウィンドウ×1
- ④ ビス(Bタイプ)×5
(※1本は予備)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

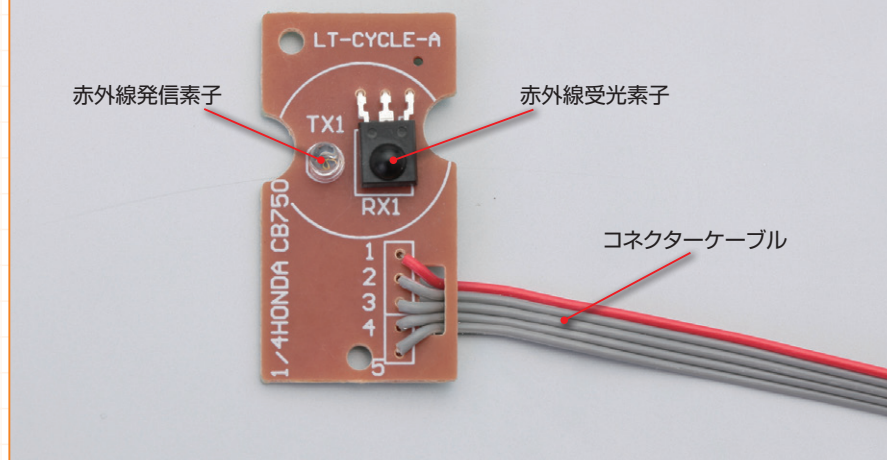
使用する道具

・+(プラス)ドライバー(1番)

用意するもの

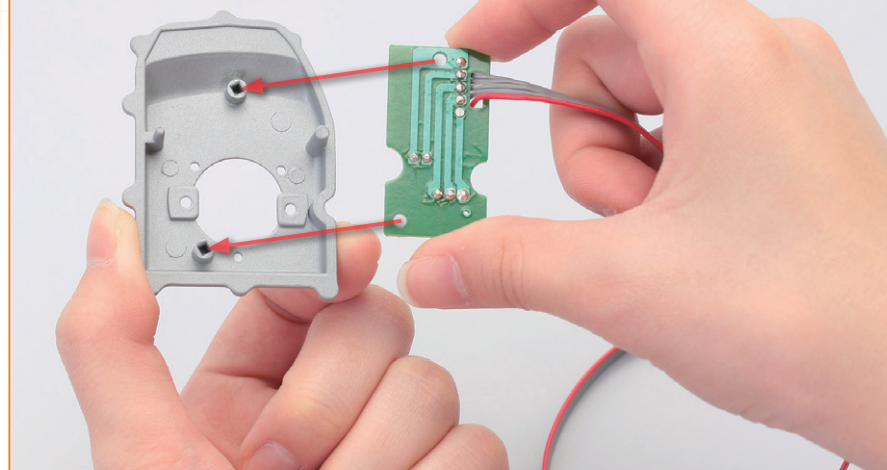
・ビニール袋(パーツが入っていた袋で可)
・油性ペン

STEP
1

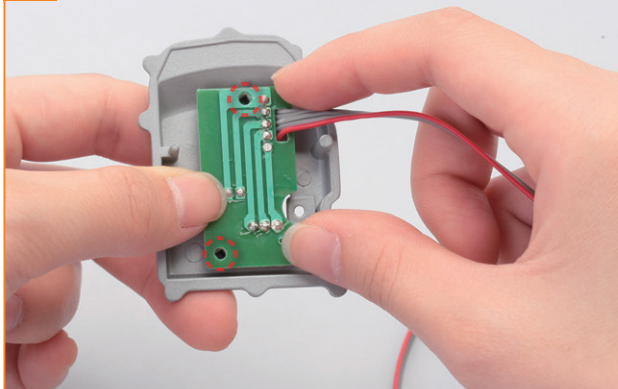


まず②IRセンサーを確認しよう。写真は表面で、赤外線発光素子と受光素子が並べて配置されている。裏面は配線が組み込まれた「プリント基板」になっている。

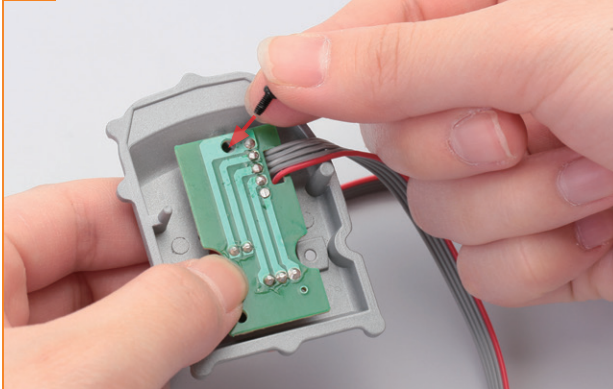
STEP
2



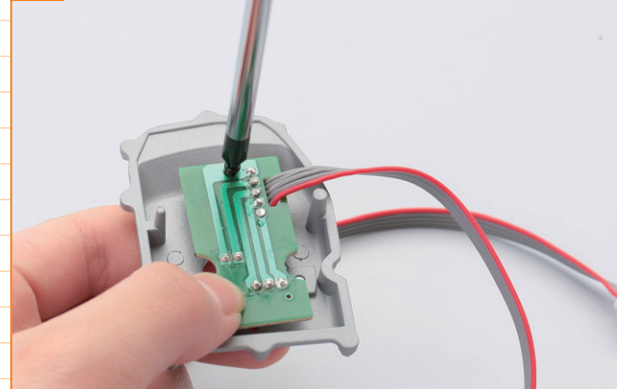
①オイルパンの裏面(写真参照)を手前に向けて持ち、そこにIRセンサーを「裏面を上」にしてセットする。この時、IRセンサーは写真のように「縁部分」を持ち、コネクタケーブルを引っ張らないよう注意する。

STEP
3

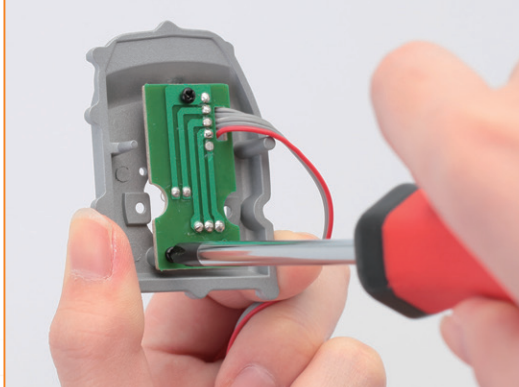
IRセンサー裏面の上下に設けられたビス穴と、オイルパン裏面に設けられた突起のビス穴の位置を合わせる。

STEP
4

④ビス(Bタイプ)を用意し、IRセンサーが動かないよう下部のビス穴部分を押さえながら、上部のビス穴へセットする。

STEP
5

1番の+(プラス)ドライバーを使い、Bタイプのビスを真っすぐにねじ込む。IRセンサーがガタガタしない程度に締め込めばOKだ。

STEP
6

続いてIRセンサー下側のビス穴にもBタイプのビスをセットし、ドライバーでねじ込む。

STEP
7

オイルパンを表面から見た状態。丸い開口部の中に、IRセンサーの発信素子と受光素子が見える。写真の状態になっているか確認しよう。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。オイルパンは、先号で組み立てたクランクケースAと対になる「クランクケースB」が提供された時点で取り付ける。そのため、今号で提供した「③IRセンサーウインドウ」は、その時に取り付けることになる。組み立てたパーツは次回の作業に備え、大切に保管しておこう。

今回の作業で使用しなかったビスは、IRセンサーウインドウの表面に傷が付くのを防ぐため、別のビニール袋に入れて保管する。また、ビスを保管するビニール袋には、ビスのタイプが判別できるように、油性ペンで号数とビスのタイプ(今号は「B」)を記入しておこう。